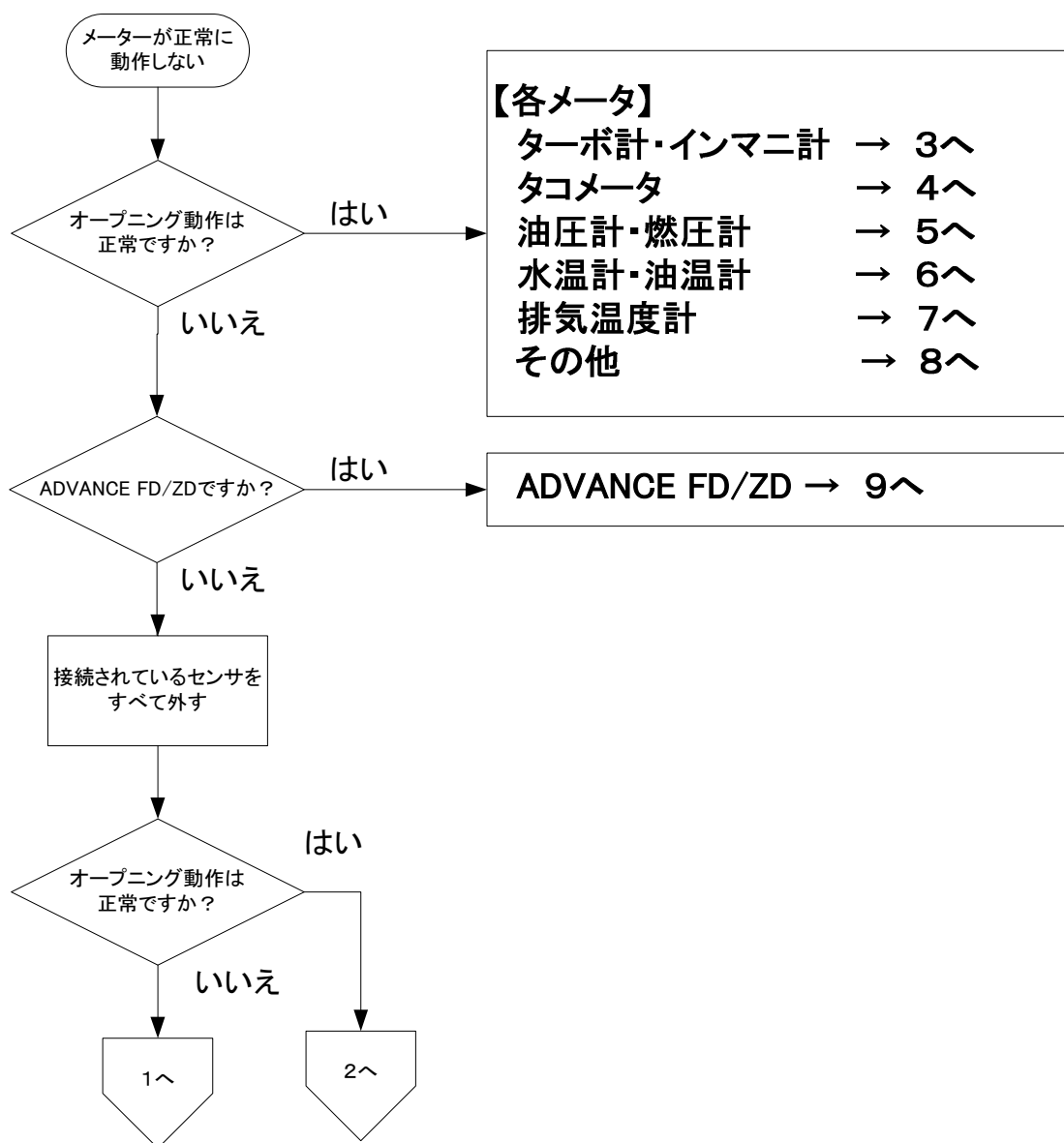


Defi-Link Meter

ADVANCE A1/CR/BF/RS

RacerGauge



トラブルシューティング番号		メーター分類	考えられる原因	対応方法
1	1-1	全てのメーター	配線の間違いや接触不良	IGNと常時電源線をバッテリーのプラス端子に接続し、GND線をバッテリーのマイナス端子に接続して、メーターをバッテリーで直接動作してください。動作しない場合は、販売店様経由にてDefiへ検査修理依頼を行ってください。
	1-2		メーターハーネスの断線またはショート	ハーネスを交換してしてください。
	1-3		バッテリー異常	バッテリーの電圧が10V以上であるかを確認してください。電圧が10V未満の場合は、バッテリーを充電または交換してください。
	1-4		[初期Defi-Linkシリーズの場合] メーター内部コネクターの接触不良	オープニングモードでLEDは他のメーターと同じように点灯点滅しているのに針の動きだけがおかしい場合は、メーター本体・コントロールユニットが故障している可能性があります。販売店様経由にてDefiへ検査修理依頼を行ってください。
	1-5		その他の異常	メーター本体・コントロールユニットが故障している可能性があるため、販売店様経由でDefiへ検査修理依頼を行ってください。
2	2-1	全てのメーター	外したセンサーの故障	外したセンサーを一つずつ接続してオープニング動作を試してください。動作しない場合は、センサーの故障が考えられるため交換してください。
3	3-1	ターボ・インマニ計	センサーの故障	[イグニッションをONにしてエンジンをかけない時に0kPaを指示していない] センサーが故障しています。Defi販売店様から検査・修理依頼をしてください。
	3-2		その他	アイドリング時に針が安定せずに振れる。軽自動車やリッターカーなどサージタンクの体積が小さい車両の場合は、正常です。サージタンクの容積を増やすなどの案があります。 または、ターボセンサー、ターボセンサーハーネスが車両フレームのエッジなどで断線・ショートしていないか確認してください。併せて、下記をご確認ください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/ （取付・取扱いに関する注意事項へのリンク）
4	4-1	タコメータ	気筒数設定が間違っている	取扱説明書の気筒数設定を参照し、ご確認をお願いします。
	4-2		車速/エンジン回転信号線の接続間違い	車速/エンジン回転信号ハーネスが、車両ECUのエンジン回転数信号に正しく接続されているか確認してください。
5	5-1	油圧計・燃圧計	センサーの故障	[油圧計と燃圧計の両方を使用] コントロールユニットのコネクタ部で、油圧と燃圧を差し替えてみて、動作を確認してください。油圧センサーが故障している場合、センサーを差し替えると同じ症状が燃圧計で表示されます。 センサー、センサーハーネスが車両フレームのエッジなどで断線、ショートしていないか確認してください。併せて、下記を確認してください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/ （取付・取扱いに関する注意事項へのリンク）
	5-2		センサーの故障	[サービスホールを使用して油圧センサーを取り付けている場合] オイルポンプの高圧な脈動でダメージを受けて故障する場合があります。 高圧な脈動によってダメージを受ける場合の対策として、ステンレスメッシュホースなどで延長して取り付けることをお勧めします。
	5-3		センサーハーネスの接触不良	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が、錆びていないかを確認してください。端子が錆びていると、接触不良になり正常に表示されません。 端子を曲げないように注意しながら錆を取り除いてください。また、直接コネクタに水がかからない場所に設置してください。
	5-4		センサーの取り付け不良	[油圧プレッシャースイッチ部を分岐するアダプターを使用している場合] 温度センサを併用している場合、油圧センサを塞いでいる場合があります。詳しくは下記をご確認ください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/
6	6-1	油温計・水温計	センサーの故障	コントロールユニットのコネクタ部で油温と水温を差し替えてみて、動作を確認してください。例えば、油温センサーが故障している場合、水温と油温でセンサーを入れ替えると同じ症状が水温計で表示されます。油温センサーまたは油温センサーハーネスの故障が考えられます。 併せて下記をご確認ください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/ （取付・取扱いに関する注意事項へのリンク）
	6-2		センサーハーネスの故障	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が、錆びていないかを確認してください。端子が錆びていると、接触不良になり正常に表示されません。 端子が曲がらないように注意しながら錆を取り除いてください。また、コネクタに直接水がかかり続けるような場所を避けてください。
	6-3		センサーの変形	センサーをアタッチメントに取り付ける場合、センサーの先端がアタッチメントと干渉して取り付けられていると、先端が変形して内部のサーミスタが正常に動作しなくなります。 正常品のセンサーと目視で見比べると、変形しているかどうかわかります。サンドイッチブロックの横側についている油圧用の穴に、油温センサーを取り付けた場合に発生しやすい症状です。 詳しくは下記をご確認ください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/ （取付・取扱いに関する注意事項へのリンク）

	6-4		水温センサーの取り付け不良	ラジエーター液にセンサーが接触していない場合、水温計の指示値が異常の場合があります。 センサーアタッチメントを下向きまたは横向きに取り付けてください。 詳しくは下記をご確認ください。 https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/installation/caution/ （取付・取扱いに関する注意事項へのリンク）
	6-5		その他	水温センサーをラジエーターのアップパーホースに取り付けた場合、エンジン始動後5～10分経過すると急激に70～80度まで上がる症状がありますが、正常動作です。 この症状は、エンジン内部のクーラントが暖まりサーモスタットが開いた時にクーラントの循環が始まるために起こる症状です。
7	7-1	排気温度計	センサーハーネスの接触不良	センサーとセンサーハーネスを接続している防水コネクタ内の端子が錆びているかを確認してください。端子が錆びていると、接触不良となり正常に表示されません。 端子が曲がらないように注意しながら錆を取り除いてください。また、コネクタに直接水がかかり続けるような場所を避けてください。
	7-2		センサーの故障	排気温度センサーに水が浸入して一時的に指示が異常になる場合があり、侵入した水分が蒸発すると指示が元に戻るときもあります。 ただし、侵入した水分が急激に蒸発するとセンサーの先端が膨らんで変形し、完全に故障することもあります。
8	8-1	その他	ILM線の接続不良	イルミコントロール機能付き（センターコンソールの照明の明るさを調整できる）の車両に取りつけた場合、ILM線（白色線）がイルミコントロール信号（パルス状の電気信号）に接続されている場合があります。この場合、ご使用のメーターモデルによって、文字板照明がチカチカする症状が出る場合があります。 ILM線（白色線）を、例えばIGN線（橙線）や+B線（赤色線）に直接接続してみて症状が出なくなる場合は、ILM線をスモールONで直流12Vになる線に接続し直してください。
				IGN線（橙線）、+B線（赤線）、GND（黒線）が正しく接続されているか確認してください。車両側の接続先ハーネスと配線色が異なる場合があります。 例えば、+B線（赤線）やIGN線（橙線）をナビ裏のACC線（赤色）やILM線（橙線）に接続していないか確認してください。 また、エンジンオフ後すぐに電源が切れない場合、車種によってはエンジンオフから数十秒後にオフになる電気信号があります。IGN線の接続先を確認してください。
9	9-1	ADVANCE FD/ZD	車速/エンジン回転信号線の接続間違い	車速/エンジン回転信号ハーネスを間違えてメーターハーネス用コネクタに接続すると、ADVANCEコントロールユニットが故障し、動作しなくなります。
				IGN線（橙線）、+B線（赤線）、GND（黒線）が正しく接続されているか確認してください。車両側の接続先ハーネスと配線色が異なる場合があります。 また、GND線（黒線）を車両のフレームに接続している場合、フレーム側がGNDになっているか確認してください。